ヒューマンエラー、ポカミス防止

ヒューマンエラーは『人為的な過誤、失敗』の事を言います。
その中で、人の「ポカ」または「ミス」により発生するものが「ポカミス」と呼ばれています。

■ヒューマンエラーは会社のリスク･･･影響は大きい

ヒューマンエラーは、不良、効率低下、5S不備、不正行為、事故災害･･･など
諸悪の根源です　～　対策しましょう！

■ヒューマンエラーはなぜ起きる？

●ヒューマンエラー ＝「エラー行動」の結果、発生する
･･･してはならない事をした！　･･･やるべき事をしていない！

●エラー行動は 正解・ルールに違反する事により発生する
「ルール違反・逸脱」→ エラー行動

ヒューマンエラーに至るエラー行動は、
本人の問題だけではない！
管理の問題もある
情報や作業環境の問題もある

IMEコンサルティング

© Seiji Tateiba 2023 Tokyo JP.

脳内(故意 or ポカ) → エラー行動 → ヒューマンエラー

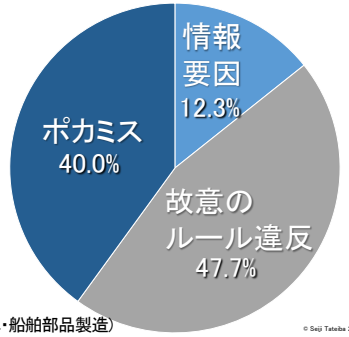
●対策の考え方
ルール違反をしてしまった原因・要因を見つけて改善！
再発させない為に当事者の自覚醸成と指導・管理の徹底、環境整備等が必要です。

ヒューマンエラー発生のメカニズムと
実態 を 照らし合わせて
原因・要因特定
原因を取除く「是正処置」
要因を取除く「予防処置」

IMEコンサルティング

© Seiji Tateiba 2023 Tokyo JP.

●エラー行動は「故意」or「ポカ」
ヒューマンエラーにつながる「エラー行動」の原因・要因を調べると、
ポカミスが多い会社もありますが、
はしょり、面倒、油断等の「故意の違反」が多い会社もあります。



(自動車・船舶部品製造)

© Seiji Tateiba 2019 Tokyo JP.

■どうすればいい？

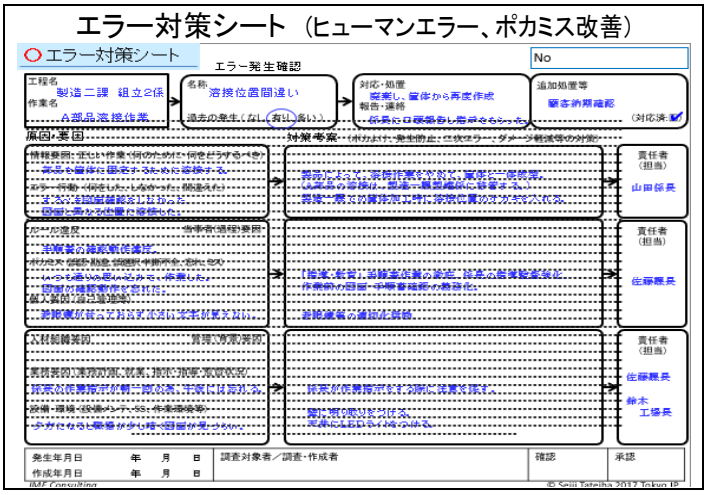
QCDS･･･諸悪の根源であるヒューマンエラーに対しては、
・実務者の正しい作業の自覚醸成
・管理者の指示・説明・指導～管理
・各課における改善活動と水平展開
・経営層によるリスクマネジメント
･･･などの充実が理想です。

■対策の考え方

実態を把握し、原因究明して、対策する。
原因究明は発生のメカニズムと重症化要因を考慮すると見つけやすくなります。
･･･ フォーマット 「エラー対策シート」等

ヒューマンエラーの
原因を 取除きましょう

エラー対策シート （ヒューマンエラー、ポカミス改善）



© Seiji Tateiba 2026 Tokyo jp.

■研修のご案内

●研修のねらい　「ヒューマンエラーは、ゼロには出来ないが、減らすことは 可能です」

研修では、まずヒューマンエラー発生のメカニズムを学んでいただき、その上で原因・要因の発見と是正予防処置について考え、自社の対策について検討出来るように意図しております。

研修は、①メカニズム体系をフォーマット化し、分析～対策を体系的に考案・実行できるようにする事 と、②管理・指導体制の充実と仕事の意識改善により再発防止する事で、
お会社のヒューマンエラー・ポカミスを実際に減らしていただけるように構成しております。

●提供可能な項目(基本カリキュラム)　「ヒューマンエラー、ポカミス防止」の技術体系

研修の項目 (基本カリキュラム)	主旨・概要
○ヒューマンエラー、ポカミス発生のメカニズム	エラー発生のメカニズムを学び、各エラーが作業過程のどこにどんな問題があってエラーが発生したのか、原因・要因を考えます
○ヒューマンエラーの考え方	メカニズムに沿った原因究明～是正・予防
・ヒューマンエラー対策	ヒューマンエラーの原因を究明し、対策する
・ヒューマンエラーの予防、リスク管理	ヒューマンエラーの潜在要因を追及し予防する
○実務のエラー、ポカミスの考え方	QCDS 直結の実務のエラー、ポカミスの問題
・実務のエラー、ポカミス対策	実務でのエラー、ポカミスの原因究明 → 是正
・実務のエラー、ポカミスの予防	実務でのエラー、ポカミスの要因追及 → 予防
○エラーを発生させない仕組み	生産活動でメカニズム発動～エラーを発生させない仕組み作り
・仕事の仕組みの考え方	(生産基盤) 仕事の仕組みの見直しを考える
・人材の育成とケア	(人的基盤) 人材育成、モチベーション、メンタルケア、風土づくり
・実務のエラー防止活動	仕事の姿勢、管理者の管理・指導、実務者の心掛け
【G演習:事例演習】	某社実例による分析・対策シミュレーション演習
【自社診断演習】	「エラーを発生させない仕組みづくり」の自社演習

●公開研修と社内研修　「公開研修」と「社内研修」のどちらにも対応します

・公開研修は、各社の代表が参加されるため、全員の平均的理解(落ちこぼれを作らない事)が必要です
・社内研修では社内 2 割の人の高度な理解と実践リード、2 割の人の反発を防止する事が望まれます

●研修の種類

お会社での目的や受講者の役割分担等に応じた研修をご用意いたします。

研修種別	研修名	主旨・概要	主対象	公開	社内	日数例
普通版	ヒューマンエラー、ポカミス防止	エラー発生のメカニズム、ヒューマンエラーの原因・要因究明と是正・予防方法、ポカミスの分類と対策 基本カリキュラム(選択)、事例演習	PJ、生産管理、管理職、リーダー等	☆	○	2日 (6hx2)
実践版	ヒューマンエラー、ポカミス防止［実践版］	エラー発生のメカニズム、ヒューマンエラーの原因・要因究明と是正・予防方法、ポカミスの分類と対策 基本カリキュラム(選択)、事例・自社演習	PJ、生産管理、管理職、リーダー等	○	☆	3日 (6hx3)
管理版(課長等)	各課で考えるヒューマンエラー、ポカミス対策	現場実務の管理によるエラー防止と発生後の対策 (管理・改善強化) 普通版の管理関連項目(選択)	工場長、管理職、リーダー等	○	◎	2日 (6hx2)
一般研修	ポカミス対策	実務のルール遵守、ポカミス対策・意識向上・モチベーション、心掛け 実務のポカミス関連事項の抜粋	リーダー、実務者等	○	○	1日 (6h)

※ 研修のカリキュラム、日程・日数、実施要領等は、ご相談のうえで選択・調整いたします。

IME [aiemú:] 株式会社 IMEコンサルティング
東京都大田区蒲田
http://www.ime-net.com
[お問合せ]
「Facebook」:「X」

© Seiji Tateiba 2026 Tokyo jp.